

星 座 の 歌 (鐵道唱歌の譜にて)

賀 川 豊 彦 作
山 本 一 清 閑

I 黄道12星座の歌

1. 羊と牛をひきつれて
双子仲よし蟹を釣る
そこへライオン飛び出せば
びつくり仰天腰ぬかす
2. 乙女がそれを助け出し
おのが家にと連れ歸り
はかりの部屋に案内して
ちよつとひといきなか休み
3. その時さそりがさしに来る
表を通る弓ひきが
幸それを射てくれる
そこへとんまの山羊が来る
4. つかまへようと瓶もつた
年寄りちよつと躓いた
魚は瓶から飛び出して
天の川へと逃げかへる

II 北の星座の歌

1. 北極星を心にして
めぐるは小熊に大熊よ
二つの熊にはさまれて
龍はうねくね逃げて行く
2. 逃げゆく龍の頭踏む
勇者は誰ぞヘクレス
琴座にまでも手をのべて
冠落ちたも顧みず
3. 小熊に近くセフエウスは
妻なる人のカシオペヤ
まじかにつれて娘なる
アンドロメダを打ち護る
4. 鎖で岩につながれし
アンドロメダを救はんと
かたへによりそふペルセウス
勇者の姿しのばるゝ
5. 北斗に近くきりん行く
馭者がそれをばおびやかし
山猫馭者を驚かし
熊は山猫追かける

6. 二匹の獵犬熊を追ひ
犬のくさりを手にもてる
牧夫ほしがる冠座
天にもなやみのあるものよ

III 赤道諸星座の歌

1. 刀をさしたオリオンは
一角獣にも乗りもせず
小犬をつれて道いそぐ
ヒドラ
海蛇来るもおそれなし
2. ヒドラに近く六分儀
コップの横の烏座と
娘のかもじ鬚星座
乙女とならび空かざる
3. はかりに近く蛇遣ひ
冠ねらふ蛇つかむ
ヘルクレスは其の上に
鷲座といるかはその左
4. 七夕祭は鷲座なる
アルタイールと琴座なる
ヴェガを迎ふる時と知れ
この夜に仰げ天の川
5. 赤道はなれ見上れば
鷲座に近く矢と狐
北の十字の白鳥と
並びて銀河に光るなり
6. いるかにつよくペガソス座
正方形に見ゆるなり
天馬につよく大鯨
エリダン河に息をつく

IV 南の星座の歌

1. オリオン星座の下見れば
ノアの箱船出て来たか
兎に鳩に大犬座
仰ぐ一等シリウス星
2. 船の東にセンチウル
槍をふるつて狼を
刺して祭るよ祭壇に
銀河のはての祭壇に